

地域コミュニティ協議会名称

長浦コミュニティ委員会

活動名称

長浦めぐりウォーキング

世帯数

約 1,890 世帯

活動内容

長浦コミュニティの範囲は、自然豊かな田園地帯で、中学校3校、小学校4校にまたがっており、地域でひとり暮らし高齢者が増える中、少子化で子どもが群れて遊ぶ光景も見あたりません。それら学校区の交流を積み重ね地域全体を元気にとの趣旨で開催されています。平成14年から実施、平成20年で第7回目を数えました。

長浦農村公園（旧長浦中学校跡）を出発、到着地点として、4 km、8 km コースを設定してあります。農業用水に大切な一級河川駒林川の堤防沿いから、「城の渦跡」「長場堰」「清掃センター」をめぐり、のんびり歩きます。スタッフ世話役のメンバーは、コミュニティ委員、子供育成会、体育指導員、交通指導隊、交通安全協会等の40名以上で、誘導班は、長浦コミュニティ防犯ベストを着用することで、地域防犯にも貢献しています。交通安全の黄色、ピンク色ののぼり旗を道路に掲げ交通安全にも役立っています。開会式は、挨拶のあとジュニアマーチングバンドとよさかの演奏でオープニング演奏とパレード、準備体操を体育指導員の元気な躍動のもとで実施します。ゴール後は、給食ボランティアの人たちのつくった、温かいトン汁を食べ懇親会を行います。毎年各自治会、老人クラブの人たちも多く100人以上の参加者同士の交流を図っています。

長浦地区は、自然も心の温かさも最高、今後も地域住民に愛され、親しみのある活動にしていきたいと思います。



実績・効果

野外での催し物の「長浦めぐりウォーキング」のおかげで、顔見知りが増え、挨拶をすることにより、地域で子どもを見守る体制、環境が整いつつあります。地域の老若男女、元気で生きがいを持つ地域活性化の効果がありました。

地域コミュニティ協議会名称

早通地域コミュニティ委員会

活動名称

みんなで作り上げた伝統行事「早通ふるさとまつり」

世帯数

約3,400世帯

活動内容

早通ふるさとまつりは、『将来にわたって子どもたちの思い出に残るもの』『世代を越えた地域交流の場』として、昭和48年有志が手作りの花車で町内をまわるといものから始められました。しかし今では、その規模は早通地区全体に拡がり、2日間の期間中で延べ5,000人ものひとが参加する大規模なおまつりになりました。

早通地域コミュニティ委員会では、このおまつりのために「ふるさとまつり実行委員会」を立ち上げ、地域住民・企業から協賛金をいただき、おまつりの企画・準備・運営を行っています。

おまつり第1日目は、早通太鼓・幼保園児によるよさこい踊り・早通中学校吹奏楽部による演奏から始まり、自治会ごとの手作り山車によるパレード、そして夜の民謡大会へと続きます。おまつり第2日目は、駅北口に「にじますのつかみ取り」駅南口に「ロイヤルエクスプレス」という4両編成の電車型の遊具が登場し広場を走行します。これは子どもはもちろん大人にも大人気のイベントです。そして夜には演歌歌手を招いての歌謡ショー、また早通ふるさとまつり開催35周年を迎えた平成20年は、総額35万円を賞金（地元の商店等で使える金券）とした「35万円〇×クイズ」を実施しました。

毎年工夫を凝らし、地域全体が参加し楽しめるおまつりを目指しています。



幼保園児による“よさこい踊り”



おまつりを楽しむ子どもたち

実績・効果

平成20年で35回を数えた早通ふるさとまつりは、地域に欠かせない行事として定着しています。また、規模も大きくなり様々な年代の人たちが関わるようになりました。

地域のみなさんの協力と情熱を大切に、地域全体で作り上げていくような、地元密着型の「ふるさとまつり」が継続していくよう、より一層の充実に努めたいと思います。

地域コミュニティ協議会名称

豊照地区コミュニティ協議会

活動名称

地域内の交流事業

世帯数

約 1,800 世帯

活 動 内 容

当地区のコミュニティ協議会は各部会とも活発に活動しています。

年間行事をみても、

春には、信濃川河畔の“ゴミ拾い”をしながらの「健康ウォーク」

小学校の運動会に地域住民も参加する合同の「運動会」

夏は、ささやかながら模擬店も出店する「夏まつり」

秋は、「高齢者交歓会（演芸会）」、「防火防災訓練」、「球技大会」

それに、「クリーン作戦」と称しての“チューリップの植え込み”や
通学路および学校周辺の“ゴミ拾い”

12月には、親子そろっての「ケーキづくり」

年が変わって、「豆まき&軽い運動大会」

行事の合間には、日赤職員や消防署員、警察署員などによる研修座談会等々

そのなかで、「高齢者交歓会（演芸会）」についてご紹介します。新潟市で最も古い地域の一つとして下町（しもまち）とも称され、“人情味あふれる”と云われるこの地区は、新潟市の中心に位置しながら過疎化が進んでいます。平成20年度現在、世帯数約1,800世帯、後期高齢者と称される75歳以上の長寿者が594名、敬老会を兼ね数十年来、玄人、半玄人、素人などによる演芸会を開催しています。平成20年度も小学校体育館を会場に、吹奏楽、コーラス、津軽三味線、福引などで午後のひとときを楽しく過ごしました。



実 績 ・ 効 果

当地域では、この10年ほどで世帯数が約350世帯減ったにもかかわらず、75歳以上の高齢者は150人以上増えています。

昭和39年の新潟地震では、地下水の浸水による被害を受け、隣近所助け合った教訓を生かすため、普段から近隣住民を確認をすると共に、お互いのコミュニケーションを図る目的で一堂に会することは非常に意義のあることと考えています。

地域コミュニティ協議会名称

鏡淵小学校区コミュニティ協議会

活動名称

世代間交流事業

世帯数

約2,800世帯

活 動 内 容

鏡淵小学校区コミュニティ協議会では、世代間の交流を促進するために、さまざまな事業に取り組みました。

①早春コンサート（平成20年3月3日）

- コミュニティ協議会と小学校の共催で早春コンサートを開催しました。
- 地元のソプラノ歌手によるコンサートで児童、保護者、教職員、地域の方々600人余りが参加し、盛大に行われました。
- 美しい歌声に、館内が一体になりました。



②校区内全域クリーン作戦（平成20年6月17日）

- コミュニティ協議会と小学校の共催で校区内全域の清掃活動を実施しました。
- 小学校児童全員、教職員、地域の方々が参加しました。
- 地域の環境美化、小学生の社会奉仕活動の実践に大きく寄与しました。



③お茶会（平成20年7月17日）

- コミュニティ協議会文教部と小学校の共催でお茶会を開催しました。
- 講師10人を招き、「茶道の極意」を学習しました。
- 実際にお茶を立てて、日本文化の一端を知ることができました。

④小学校文化フェスティバル（平成20年11月2日）・⑤ふれあいデー（平成20年11月14日）

- コミュニティ協議会文教部が1ブースを借り、「昔の遊び」を児童に伝えました。（お手玉・ケン玉・コマ・メンコ・竹カエシ・アヤトリなど）
- 児童、保護者、地域の人々の参加で昔の遊びを児童に教え楽しみました。

地域コミュニティ協議会名称

新潟地区コミュニティ協議会

活動名称

広報誌「コミ協だより にいがた」発行事業

世帯数

約4,400世帯

活動内容

新潟地区コミュニティ協議会は平成19年に発足しました。

「自治・町内会の住民のコミュニティ活動の円滑を期して、地域の各種団体相互の連絡調整を図り、住みよい町づくりに、市政の発展に寄与する」ことを目的として、地区内の47の自治・町内会や、地域の防災・防犯、子育て・教育、健康・福祉など、分野ごとに組織されている様々な団体が構成されています。

自治・町内会はその名のとおり、住民共同の一番の拠点であり、生活全般における行政機関との連携は多岐にわたりますし、その会長の担う役割は融合調和を図ることです。

また、分野ごとの団体は、各自治・町内会長が地域の皆さんの代表として、各種団体の構成員となり、行政と地域とのパイプの役目を果たしているほか、自主的に活動を行っています。

こういったことを地域の皆さんから知っていただき、今まで以上に自治・町内会や各種団体の活動、そして、コミュニティ協議会の活動に参加していただきたいと思い、平成20年3月に、「コミ協だより にいがた」の創刊号を発行しました。

創刊号には、当コミュニティ協議会の構成団体である各種団体のご紹介、中央区内の小学校区別の人口や児童数、当地域内の長年の懸案事項であった寄居浜の復元のための事業のご紹介のほか、各種団体が行った活動の一部を掲載しました。



実績・効果

創刊号は、5,000部発行し、自治・町内会を通じて、地域の皆さんに配布しました。広報誌をご覧いただいたことで、今まで以上にコミュニティ協議会をご理解いただけたものと思います。

今後は、地域の皆さんの声や要望を伝えられるような広報誌となるよう、努めていきたいと思ひます。

地域コミュニティ協議会名称

沼垂小学校区コミュニティ協議会

活動名称

栗ノ木川さくら祭り

世帯数

約3,600世帯

活動内容

阿賀野川と信濃川の2大河川に囲まれた亀田郷は、雨季には一面に水がたまり湖のように見えますが、地図には書いてない事から「地図にない湖」と呼ばれ、その排水のための唯一の川が栗ノ木川です。建設当時は東洋一の排水機と言われた栗ノ木川排水機場をすぐ近くに抱える地区です。栗ノ木川の舟運で発酵食品などの産業も育ちました。その栗ノ木川は、バイパスとなり舟の代わりに車が流れ大動脈となっていますが、歴史を忘れないためにも地域の河川で桜を愛でる行事を行っています。

小学校の児童、万代高校のカヌー部、水辺の会、地域の人々、PTAなど多くの方々の協力のもとに、各種演芸、フリーマーケット、屋台などで、地域の桜並木を歩き、リバーサイドウォークで健康増進と自然観察、人的交流を行っています。



実績・効果

ただ近くを流れている川から、地域の宝、地域の歴史を作った川として、ほんの少しずつですが認識を新たにしてもらっています。また、河川公園として管理者である市や、県から、さまざまな提言と援助で、親水公園として整備され、ドッグランや水面下にあることの海水面表示などをしてもらっています。危なくて近寄らない汚い川から、地域の大事な川として親水面を重視して、地域の宝としての川へと認識を変える一助になっていて、草刈りや、きれいな川にするためにどのように環境を変えていかなければならないか、市民活動としてどのように積極的に関わっていかなければならないか考えてもらう一助になっています。

地域コミュニティ協議会名称

亀田小学校区コミュニティ協議会

活動名称

散策ふれあい会

世帯数

約2,800世帯

活動内容

亀田小学校区は、310年余続く「三・九の市」が開く市場通りを含む旧亀田町の中心部にあり、昔ながらの商店街や開発された新興住宅地がある地区です。自治会数は23ありますが、一つ一つの自治会の世帯数は100前後と江南区の平均150世帯と比べ、規模は小さめです。

今回紹介するコミュニティ協議会主催の事業「散策ふれあい会」は、平成18年度から実施され、毎年100名以上の住民が参加するイベントです。

内容は、地元の名所までの散策や、名産である梨の畑までウォーキングした後、親睦のためレクリエーションを行い、多世代の交流を図るものです。

校区内の中心部では、高齢化が進んでいるため、普段子どもたちが遊んでいる場面をあまり見なくなってきましたが、この散策会に参加した高齢者からは、「子どもたちの楽しそうな声を聞き、癒された」他の地区から引っ越してきた参加者からは「梨畑があるのは知っていたが、中に入って採るのは初めてで、感動した」など大変好評で、また来年も開催してほしいという声が多くありました。



実績・効果

散策会を開催することで、普段あまり話をしない人や初めて会う人と顔見知りになり、他の地区の状況がわかって、地域の一体感が増しました。

普段は地域内を歩くことが少なく、地域を知るよい機会になりました。

地域コミュニティ協議会名称

早通小学校区コミュニティ協議会

活動名称

地域を知ろう、いい汗流そう。歩け歩け交流

世帯数

約 1,000 世帯

活動内容

早通小学校区は農村地帯と新興住宅地があり、南北に長い地域です。

コミュニティ協議会設立初年度より、夏と秋の2回、地域内をよく知ることを目的に約7キロのコースで毎回コースを変え「歩け歩け交流」を実施しています。午前8時に出発し、11時に交流会場に到着するという時間の設定で、区域内の歴史、文化、農産物の紹介等、地域を散策しながら宝を再発見し、併せて健康増進を図るためウォーキングで汗を流します。参加者は毎回70名を超えています。

コースを決めるにあたり地域住民がそれぞれの地区の歴史や文化に関するガイド役になったり、トイレ休憩所の確保、参加者の体調への気遣いのために自家用車で後部についたり、率先して事業へ参加しました。

毎回作るトン汁の準備に携わる人々も増えて、そこでも交流が図られています。昼食持参の交流会場は持ち寄った漬物の披露や、冷えたビールで乾杯し、まるで持ち寄りパーティのようでした。

ビンゴゲームを最後に行ない、大人も子どもも参加者全員が真剣な顔でカードを持って楽しんでいました。終了し、片づけが終わるとあっという間に2時を回っていました。



実績・効果

平成18年、19年と今までに計4回の歩け歩け交流を行ないました。そして、歩いたコースで発見した地域にある特色ある宝物を織り交ぜた、地域マップを作成しました。

マップ作成の財源としては区からの補助に加えて地元個人事業者等からの広告費による協力を得て発行し、地域内の全世帯に配布することができました。

地域住民にとっては初めての地域の地図でもあり、地域をよく知ることができたと大変好評でした。また、平成20年度の歩け歩け交流実施後では、今までは顔は知っていても挨拶を交わしたことが無かったという住民同士が気持ちよく挨拶ができるようになりました。

今後も、より大勢の参加者があり地域住民がお互いに良く知り合える関係づくりに発展していくことを期待しています。

地域コミュニティ協議会名称

亀田東小学校区コミュニティ協議会

活動名称

ふれ愛コンサート事業

世帯数

約4,300世帯

活動内容

子どもから大人まで楽しめる、肩のこらないコンサートをコンセプトに平成18年度より実施しています。音楽のジャンルは特に問いませんが、第1回、第2回は亀田市民会館において新潟室内合奏団によるクラシックコンサート、第3回はふれ愛プラザ体育館において、視覚障害のバイオリニスト佐藤博志氏、アマチュアバンドのレモンスカッシュ、障がい者とその家族等で構成される混声合唱団ふれ愛により演奏に合わせていっしょに歌うなど、聴衆参加型のコンサートを実施しました。

また、コンサートにさきがけて、会場前で新潟大学歯学部及び歯科医師会の協力による「健口教室」を開催し、来場者等に歯みがき指導等を実施しました。



実績・効果

当日の司会進行を地元の小学生、中学生に依頼したり、第3回からはコミュニティ協議会エリア内にあるふれ愛プラザにおいて、新潟県身体障害者団体連合会・新潟県障害者交流センターと共催で開催する等地域に密着した運営を行ってきました。

| | |
|-----------|-------|
| 平成18年度参加者 | 約250名 |
| 平成19年度参加者 | 約150名 |
| 平成20年度参加者 | 約130名 |

地域コミュニティ協議会名称

大江山地区コミュニティ協議会

活動名称

大江山地区「地域の茶の間」活動

世帯数

約 1,900 世帯

活動内容

大江山地区は、近年少子高齢化が進み、普段近所づきあいの少ない高齢者世帯の増加が顕著です。一方で子育てに不安を感じている若い世帯もあり、地域内で仲間づくりや話し合いができる場がもてないものかと感じてきました。

そうした中、江南区社会福祉協議会の指導の下、コミュニティ協議会、老人クラブ、民生児童委員等が中心となり、平成20年5月に「大江山地区地域の茶の間」が立ち上げとなりました。

「地域の茶の間」は、在宅高齢者や障がい者、子育て中の親子などを対象に、様々な交流を通して孤独感の解消や健康増進、子育ての知識交換などを目的としています。活動は小学校区単位で、隔月ごとに会場を替えて、偶数月は丸山小学校区（大江山荘）、奇数月は大淵小学校区（大淵荘）で行っています。

活動内容は、定例活動として「お茶の間について」のビデオ鑑賞、保健師による体操、日帰りバス旅行、警察関係者による防犯・交通安全等の講演などを行っており、お茶を飲みながら、何でも気ままに話し合う時間を大切にしています。

また、世代交流事業として、昔話の語り部の方に協力してもらい、子どもから高齢者まで一緒になって昔話を楽しむ会を開催しています。12月と1月には「餅つき大会」を行い、世代間の交流に努めていきたいと考えています。



実績・効果

活動当初から、大江山地区の各自治会の理解・協力を得て、当活動のPRや参加者募集のため、自治会の回覧を利用させてもらっています。また老人クラブの皆さんからも積極的な呼びかけをお願いしています。おかげで定例会にはたくさんの方から参加をいただいています。5月、6月に行われた日帰りバス旅行は延べ100名を超える参加をいただき、大変好評でした。

今後も様々な企画をたて、参加者を増やして更に当活動の交流の輪を広げていきたいと考えています。

地域コミュニティ協議会名称

新津西部コミュニティ推進協議会

活動名称

「賽の神」による世代間交流事業

世帯数

約4,000世帯

活動内容

毎年2月初め新津第三小学校グラウンドにおいて、「賽の神」を開催しています。昔、各地で開催されていた賽の神は場所や要員・費用等の問題で少なくなってきました。私たちは「賽の神」を子どもたちと一緒に藁集めから製作・実施することで、地域に伝わる伝統の継承と世代間の交流及び地域の親睦を図る目的で取り組んでいます。

10月、小学校近くの農家をお願いして稲刈りの終わった田んぼで集めた稲を山積みにし、2月まで乾燥させて藁を作ります。2月第一日曜にいよいよ製作です。子どもたちに鳥羽網を教え縄に藁を編んでいきます。大人たちはグラウンドにて高さ6mの竹の骨組みを組み立てます。内部は3階構造にして藁くずを詰めていき外側に鳥羽を巻き付けて完成です。

2月第二土曜、夜7時点火です。内部からドーンという竹が焼け破裂する音が響きます。煙が渦を巻いて夜空に舞上がり、鳥羽を破った炎が一気に燃え上がります。一緒に作った子どもたちや大人たち、そして300人を超す地域の観衆が炎と熱に感動します。芯竹が焼け落ちると手竹にスルメを付け焼いて食べ、一年の無病無災を祈願します。



実績・効果

地域の子もたちと大人が一緒になり、共同で製作し実施することにより世代間の交流と子どもたちの育成が図られます。また、多くの人たちが点火に集まり、甘酒やふる舞い酒を飲みながら真っ赤な炎と熱の中、語り合いコミュニケーションを図ることができます。

地域に伝わる伝統の継承はもとより、子どもたちの心に良き故郷の思い出を築くことができ、コミュニティ協議会の活動として今一層の充実に努めていきたいと考えています。

地域コミュニティ協議会名称

満日コミュニティ協議会

活動名称

満日地域「芸能祭・文化祭」ふれあい交流活動

世帯数

約400世帯

活動内容

満日小学校区では、公民分館組織がなくなったことから従来の地域公民館活動として実施していた活動の一部をコミュニティ協議会活動として引き継ぎ、地域と学校との協働で、「芸能祭・文化祭」を実施しています。

満日小学校の児童作品展の日程に合わせ「芸能発表並びに作品展示」を行いました。小学校の体育館を利用した芸能祭では、地域の各種踊りの会などが常日頃の練習の成果をこの芸能祭で発表したり、併せて、地域の子どもたちも夏休み期間中に練習に励んだ地域の伝統芸能踊り、また、学校の授業等で取り組んだ踊りや合唱・合奏の音楽発表など子どもたち全員参加で、大人たちと子どもたちの地域交流を行っています。

並びに、同時開催の作品展（文化祭）でも、小学校の教室や廊下を借用し、地域の各種団体（園芸・書道・俳句・生け花など）や個人からの作品を募り力作を出品していただきました。また、フリーマーケットコーナーを設けるなど地域と学校とが一体となったふれあいの交流活動に取り組んでいます。

参加者及び子どもたちの保護者並びに地域の人たちがこの活動を通じ、知り合えるきっかけにもなりますし、さらに学校への理解・協力にもつながる活動であると考えています。



実績・効果

子どもたち・大人たちがふれあえる大切な地域交流活動であり、地域の皆さんからも喜ばれ、地域づくりや子どもたちの健全育成活動の一環にもつながっています。

少子・高齢化など、様々な地域での課題はありますが今後も継続し活動することの必要性及び地域の協力の大切さが再認識できます。

子どもたちと大人たちが世代間を超えたふれあいができ、地域の輪を大切にするための活動の充実に今後とも努めていきたいと考えています。

地域コミュニティ協議会名称

新津東部コミュニティ協議会

活動名称

新津島盆踊り大会

世帯数

約3,700世帯

活動内容

新津第二小学校区の学区は15町内で構成され、周囲を新津川と能代川に囲まれた地域です。

新津川は市街地中央を流れる唯一の1級河川で、かつて九十九曲がり川の異名をとり、暴れ川として度々水害により地域住民を悩ませてきたことから、激甚災害法の適用により市街地を迂回する能代川バイパス工事が施工され旧川が新津川と名称変更されました。

以来、能代川による水害から東部地区は解放されました。

この河川改修によって水質も向上、能代川に鮭の遡上がふえたことにより「能代川鮭鱒増殖組合」から、平成19年1月鮭卵200粒の提供を受けた新津第二小学校ではこれを孵化させ、地域住民とともに鮭の回帰を願って新津川に放流しました。学校の総合学習の一環でしたが児童はもちろん、地域住民も含め環境整備や自然愛護の意識啓発など不法投棄等に対する意識改革を促しました。

このことがきっかけとなり、新津川と能代川に周囲を囲まれた地域であることから、これを島と見立てて地域と学校が連携して東部地区全体で「新津島盆踊り大会」を開催することになりました。

学校の協力を得ながら、企画は子どもたちが主体となり新津松坂の囃子も地元有志の指導により子どもたちが努めるなど自主性を尊重、子どもたちの手の及ばない櫓の組み立て、提灯の取り付け等を各種団体や地域住民が分担してこれを行ないました。



実績・効果

郷土の代表的民謡で盆踊りとしても有名な「新津松坂」を児童や地域の人たちが一緒に輪になって踊ることで世代間の交流が図られ、児童間の友情や、豊かな情操を持つ子どもの育成と地域住民の親睦を深めながら、良好な環境の保全や犯罪のない安心、安全なまちづくりのため「新津島盆踊り大会」を開催。

平成19年は500人、平成20年は700人の参加を得て盛大に実施され、このことがこれまで希薄であった地域としての連帯感の気運醸成にも寄与することになりました。

地域コミュニティ協議会名称

新関コミュニティ協議会

活動名称

新関ふれあいまつり

世帯数

約510世帯

活動内容

少子化が進む今日、新関地域も例外ではありません。住民の心の拠り所でありました新関中学校が新津第五中学校に統合され、中学校を核とした地域住民のふれあいの場も機会も減ってしまいました。

そんな中、新関コミュニティ協議会は発足と同時に地域の活性化、交流の場をいかに設定するかを模索してきました。例えば、小学校の運動会では「ふれあい運動会」と称し地域住民も参加する運動会、また、住民の交流を兼ねた「史蹟めぐり」、文化祭では「地域の作品展」を開催するなど「ふれあい」を重視してきました。

そして、平成20年度は念願であった「新関ふれあいまつり」を実現することができました。実施日および会場の問題、イベント内容や依頼などさまざまな問題がありました。が役員をはじめ地域住民の熱意で成功裏に終了しました。

主なプログラムは次の通りです。

- ・「よさこいソーラン」（新関地区中学生）・「レクダンス」（楽しい輪）・「歌謡ショー」（歌手：植木利衣）・「歌謡生演奏」（コシヒカリ Bando）・「新津松坂」

当日（8月30日19：00～）は大勢の地域住民が訪れました。新関地域出身の中学生（新津第五中学校）による「よさこいソーラン」は、新関中学校閉校式以来の発表となり、再び大きな感動と元気を与えてくれ、テーマどおり「笑顔いっぱい・元気いっぱい・夢いっぱい」の会場となりました。



実績・効果

「コミュニティ協議会」とは何のことか？何をする団体なのか？と、よく尋ねられ、その名前すら知らない人も多いようです。

今回の「新関ふれあいまつり」で、「コミュニティ協議会」の目的や役割が理解され、存在感が増したことを実感しました。10月に実施した「史蹟めぐり」は、参加者が多く大型バスを手配。11月の作品展では、地域のみなさんの力作を見ようと多くの人が訪れ展示室が一段と賑やかとなりました。

今後も「ふれあい」を大切に活動に取り組み、元気のある活力に満ちた新関地域づくりに努めていきたいものです。

地域コミュニティ協議会名称

新飯田コミュニティ協議会

活動名称

スポーツ地域交流活動

世帯数

約500世帯

活動内容

(フロアカーリング教室・大会)

地域コミュニティ活動として、まず、地域住民からコミュニティの役割を理解してもらう意味でも地域の人たちみんなが対象となるような交流事業を考えた結果、フロアカーリングの名前があたりました。

新潟市としても南区としても普及に力を入れているというフロアカーリングをここ新飯田でも取り入れることで、住民同士や他地区との交流によって元気なまちづくりにつながると考えています。

活動は、教育・文化・スポーツ部会が担当し、主にスポーツ振興推進委員会が指導にあたっています。毎週1回（火曜日）の練習と1年に1回（平成20年11月16日）の大会も定着し、老若男女、どんな人でも同じように楽しめるということで友達同士や同級生・スポーツ少年団・自治会からもチーム・メンバーが集まってきています。

また、他に学校行事や公民館行事の際にもフロアカーリングが取り入れられており、手軽さから地域に浸透してきています。



実績・効果

地域の大会だけではなく、他地区との交流大会や区や県の大会等にも参加し、新飯田の元気をアピールすることができたと考えています。特に子どもたちは、スポーツを通して他地区の人たちと刺激あひ成長していったと感じました。

また今後、老人会やPTAへもっと普及することで世代を超えた地域交流ができると考えています。

地域コミュニティ協議会名称

コミュニティ茨曽根

活動名称

2008 茨曽根夏祭り

世帯数

約420世帯

活動内容

国道8号周辺に、会社や商店そして住宅が出来て地域の連帯が薄れてきている、茨曽根地区として地区民の参加を目的に「さいの神」「地区民運動会」そして「茨曽根夏祭り」をコミュニティ茨曽根の主催で、実行委員会を設立し開催しています。

参加者は子どもから高齢者まで幅広い世代の参加がありました。

夏祭り実行委員会は自治会、スポーツ委員、小学校PTA、保健会、保育園保護者会、消防団等より約60名の役員を選出し、企画会議を開き夏祭りを行っています。

平成20年の夏祭りは、8月23日14時より特設ステージ作り、テントの組み立てや出店の準備を行い、17時より開催しました。

ステージでは、茨曽根小学校の児童による茨曽根音頭の樽ばやしでの演奏が始まり、トキめき新潟国体のマスコットのトッキキも参加してくれたトッキキ体操、伝統芸能の茨曽根太々神楽舞、フラダンス、生バンドとカラオケ大会、大抽選会等を行い、お店はボランティアによるフランクフルト、焼き鳥、焼ソバ、カキ氷等多数の出店で、行列が出来るほど盛況でした。

夏祭りはアトラクションと出店でたいへん盛り上がり、多くの参加を得てフィナーレはナイアガラの花火大会で終了しました。



茨曽根音頭を演奏する樽太鼓教室の生徒達



トッキキと一緒にトッキキ体操

実績・効果

10数年前までは、各地区の春祭り、秋祭りには出店がならび、子どもたちは太鼓を叩き、出店で買い物をして楽しんだものです。

しかし今では、祭りへの地区民の参加も少なくなってきました。そこで、夏祭りをコミュニティ主催で開催し、多くの地区民が一同に会することにより、連帯や親睦を深めることが出来ました。